



県内経済の動き

概 況

〔2026年5月～2026年7月の動き〕

景気は回復が続くも先行き不透明感は強まる

鉱工業生産指数（5月）は2カ月ぶりに前月比低下、通関輸出額（6月 細島港）は4カ月連続で前年同月比増加した。小売店販売額（6月）は6カ月ぶりに前年同月比減少、「軽」を含む乗用車の販売台数（7月）は4カ月連続で前年同月比増加した。新設住宅着工戸数（6月）は3カ月連続で前年同月比増加し、公共工事（7月 保証対象請負総額）は3カ月ぶりに前年同月比増加した。有効求人倍率（6月）は前月比▲0.01ポイントの1.16倍で、7月の企業倒産は前月比2件減の7件、負債総額は同5億47百万円増の16億9百万円となった。

景気は緩やかな回復が続いている。中東情勢や物価動向、令和8年熊本地震の本県経済への影響など先行き不透明感が強まっている。